

平成 21 年度宮前区区民会議 公園・地域づくり部会(第 3 回)

平成 21 年 7 月 28 日(火) 18 時 15 分～20 時 15 分
区役所 1 階地域振興課奥会議室 (旧区長室)

次 第

開 会

1 議 事

(1) 具体的な課題解決策について

2 その他

閉 会

《配布資料》

資料 1 議論ペーパー

別紙 平成 21 年度宮前区区民会議 公園・地域づくり部会(第 2 回)確認事項

参考 1 第 3 回宮前区まちづくり協議会フォトコンテスト広報資料

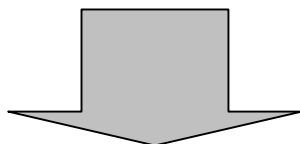
参考 2 平成 20 年度ディスカバーウォークみやまえプログラム・実施要項

平成21年度第2回宮前区区民会議 公園・地域づくり部会確認事項

- 開催日時 平成21年6月23日（火） 18：15～20：20
- 会場 宮前区4階第1会議室
- 参加者 佐藤部会長、久保委員、田邊委員、福本委員、目代委員、
持田委員、吉岡委員（以上、公園・地域づくり部会委員7名）
永野委員長（以上、オブザーバー1名）
山岡洋子（有馬ふるさと公園プレイパーク「ポレポレ」）
岩佐企画課長、成沢主査、鈴木職員（以上、宮前区企画課3名）
福田研究員（株式会社シー・エス・ケイ）
- 参加者 1名

□確認事項

- 1 プレイパークについて
 - ・プレイパークについては、要綱を整備することで、地域との話し合いのスタートラインに立てるなど活動がしやすくなる。
 - ・提案以後、区民や活動団体にどうつなげていくかなど受け皿づくりを意識して議論を進める必要がある。
 - ・プレイパークなど、公園を利用した冒険遊びを地域のコミュニティづくりにつなげるルールづくり、組織づくりを提案する
 - ・行政だけで要綱を作っても機能しない。市民・関係団体・行政などが協力して地域ぐるみでルールをつくることが重要



プレイパークルールづくり委員会

目指すべき方向性

公園を地域コミュニティの場として活用していく

全体会での意見など

- ・公園がコミュニティの拠点になることで、公園に愛着が生まれ、管理が行き届く。
- ・コミュニティの場としての公園には、コーディネーターの存在が必要不可欠だ。
- ・宮前区の公園は7区でも多い方なので、これらの公園がいきいきとした場になれば、区民の宝になる。
- ・子育てが終わった世代は公園に行かなくなりがちなので、楽しそうな企画があれば通りがかりでも参加できるのではないか

公園・地域に関する現状

◆地域コミュニティなどに関する現状と取組
(公園を絡めた解決策を視野に入れて…)

第1期区民会議では、審議課題である高齢者支援や、子育て支援、地域防災などを効果的に行うには、顔の見える関係づくり(地域コミュニティ)が重要であると確認された。

◆公園そのものに関する現状と取組

区内には190の公園緑地がある。
うち、街区公園：170 近隣公園：6 その他：14

公園緑地・街路樹に関する苦情が急増している
H12：714件→H18：1,065件

地域の公園は地域が主体となって管理するのが、市の基本方針となっている。宮前区では129箇所地域による維持管理活動等が行われている。
うち、公園緑地管理運営協議会：51 公園緑地愛護会：78

レクリエーション、憩いの場に加え、緑地、防災拠点など公園には多様な機能がある。

夏祭りや盆踊り等地域のイベント会場、ラジオ体操、健康体操の会場などとして使用されている。

一部の公園で、施設の老朽化や管理が十分でないケースが見られる。

誰でも使えるオープンスペースであるが、その利用方法は、立場や世代によって利害が対立する場合がある。

ゴミの不法投棄、犬や猫の糞など、一部に、マナーの悪い利用者がいる。

理想とする公園像

◆望ましい施設

トイレ、ベンチ、看板、時計、砂場などがあげられたが、地域のニーズや実情によって異なる

◆維持管理・運営のあり方

地域の多様な世代が、できる範囲で無理なく主体的に維持管理に関わっている

公園利用者自らが、自主的に公園の維持管理、ルールづくり、催し物の企画運営に関わることができる

◆地域での使われ方(コミュニティ面)

普段から子どもからお年寄りまで、多世代の人が自由に利用しており、顔見知り関係ができています

地域のお祭りやイベント会場としても使用され、地域の交流が図られている

解決すべき課題

◆維持管理について

活動に関わる人が少ない。参加者の固定化・高齢化が見られる。

公園緑地管理運営協議会が存在・役割とも地域にあまり知られていない。

自主的な公園利用のルールをみんなで話し合う組織としての公園緑地管理運営協議会の役割が内部の人にもあまり知られてない。

◆公園利用について

公園の利用層に偏りがあり、特定の人しか利用しない傾向がある。

公園のコミュニティ的価値に関する情報発信が不足している。

利用者のマナーが良くない(ごみ・たばこ・ペットなど)

具体的な課題解決策(議論中)

◆公園の利用促進に向けて公園の魅力をアピール

掲示板による情報発信

- ・設置目的：地域コミュニティの活性化
- ・発信内容：公園のイベント、管理日程など
- ・設置条件：管理・運営主体の明確化

活動の看板設置

- 例) 公園体操など
- プラスチックで作成しフェンスにくくりつける
- 管理運営主体が明確

その他の情報発信

- 例) チラシ配布、ホームページの活用

◆コミュニティのきっかけづくり

公園に目を向けてもらうためのイベントの実施

- 例) 「宮前区公園遊びの日」の設定
- スタンプラリー、ディスカバーウィーク、写真コンテスト、公園体操など既存の取組を活用

日常的に公園を利用できる仕掛けづくり

- 例) プレイリアカー、公園キャラバンなど

宮前区版プレイパークの推進

- 例) プレイパークルールづくり委員会
- 地域住民、団体、行政など区民みんなと一緒に決めるルールづくり
- 要綱整備による活動促進、地域での合意形成に向けた話し合いの支援

◆維持管理・運営の担い手・組織など

公園利用者自身によるルールづくりの仕組みと地域での合意形成

維持管理だけでなく企画を行う組織の確立